



第2部

基本構想

- 第1章 構想の基本姿勢
- 第2章 都市づくりの目標
- 第3章 将来像実現のための5つの柱

YUKI





第1章

構想の基本姿勢

本市は、これまで恵まれた歴史や自然を守り育みながら、豊かな市民生活を支える都市・生活基盤の整備や活力ある産業の振興などに努めてきました。

これからは、

これまでの都市づくりのストックを基盤として、
歴史や自然などの地域資産を十分に生かしながら、
結城らしさといきいきとした豊かな市民生活をみんなの協力・協調で築き、

次代に誇れる都市を着実に実現していくことが大切であると考えました。

そこで、将来の姿を構想するにあたって次の3点を重視し、基本姿勢としました。

1「らしさ」づくり

本市の豊かな歴史や自然等の地域資産は、先人より受け継がれ、今日、それは市民の誇りとなっています。この地域資源を守り、より良いものとして育み、さらに次代へしっかりと継承していくことが結城市民の責務であると考えます。豊かな歴史や自然等の地域資産を共生の視点から暮らしの中で守り育みながら、結城市の個性と文化の創造へと発展させていきます。

2「豊かさ」づくり

都市は、人々が誇りと愛着を持って、次代に向けていきいきと住み続けることができる豊かで快適な環境でなければなりません。本市における豊かさとは、歴史や自然に恵まれた風土の中で、都市としての利便性や快適性が享受でき、田園や自然とのふれあいなど、ゆとりとuringおいのある生活をいきいきと営むことができる環境としくみを確立することであると考えます。

本市は、新世紀の地域づくりを先導する中心都市として、将来にわたりこうした「豊かさ」を実感できる市民生活の創造をめざし、自立性と持続性のある都市づくりを推進します。

3「自主・自助」の都市づくり

都市づくりは、そこに住む多くの人々の合意や協力、協調、創意工夫による主体的な取り組みが重要です。市民が地域の大切さを知り、自覚を持って知恵を出し合い、自治を進めていく必要があります。そのため、みんなで地域や都市づくりの必要性を学び、市民参加によって都市づくりへの関心を呼び覚まし、地域活動をいきいきと活性化させるなど、市民主体、地域の自主・自助を基本とした都市づくりを推進します。

第2章

都市づくりの目標

第1節 将来像

構想の基本姿勢に基づき、平成22年度における結城市の将来像を次のように定めます。

みどりと歴史の いきいき文化創造都市・結城

この将来像は、先人より受け継がれてきた緑豊かな自然や歴史を市民の誇りとし、心あたたまるふれあい、対話と協調を通して、こうした環境を守り育みながら、いきいきとした豊かな市民生活と活力ある地域を築き、特色ある結城文化を創造していくことを目標とするものです。

「みどりと歴史の」とは…

緑豊かな自然と歴史的環境は、結城市の重要な地域資産です。こうした重要な地域資産を将来にわたって「共生」の視点から守り育み、さらに創造しながら、結城市のらしさづくりや豊かさづくりにつなげていきます。

「いきいき文化創造都市」とは…

緑と歴史のゆとりとうるおいのある環境の中で、市民一人ひとりがともに手をたずさえ、だれもが生涯を通じていきいきと過ごすことができる、活力ある豊かな暮らしづくりと、訪れても心なごみ楽しめる快適な都市づくりを進め、結城独自の生活文化の創造をめざします。

また、この将来像の実現に向けて、次のような5つの柱を設定します。

- ①明日を拓く豊かな市民文化と人づくり（教育・文化）
- ②ともに生きる健やかな福祉社会づくり（健康・福祉）
- ③美しいゆとりある快適環境と景観づくり（環境・都市基盤）
- ④豊かな暮らしを育む活力ある産業づくり（産業）
- ⑤市民の誇りとなる対話と協調の都市づくり（自治・都市づくり）



第2節 将来指標

本市の平成22年を展望した各種フレームを次のように定めます。

(1) 総人口

目標年次の総人口は、60,000人と想定します。

この目標人口は、少子高齢化と人口の流出に対応して、市民生活の視点を重視した豊かな生活環境の整備や新たな産業の誘致や創出など、人口定着策を地域特性に応じ展開し、活力ある都市形成を図るための目標値として設定したものです。

(2) 年齢別人口

現在の年齢別人口構成比については、年少人口（0～14歳）は減少傾向にあり、老年人口（65歳以上）は増加傾向にあります。こうした傾向は将来的にも継続していくものと考えられるため、今後は、特に若年層や壮年層の定着と流入の促進を図り、人口構成バランスの適正化に努めます。

(3) 産業別就業人口

産業別就業人口では、企業や商業施設等の誘致などを進めることにより、現在の就業力を維持・強化する就業構造を想定します。また、常住地、従業地ともに第1次産業就業者が減少し、第2・3次産業就業者が増加するものと想定します。

将来指標

		平成12年		平成22年（目標年次）	
		実数（人）	割合（%）	実数（人）	割合（%）
総人口		52,774	100.0	60,000	100.0
三層区分	0～14歳	7,658	14.5	8,100	13.5
	15～64歳	35,929	68.1	38,300	63.8
	65歳以上	9,187	17.4	13,600	22.7
常住地 *4	就業人口	27,920	100.0	29,700	100.0
	第1次産業*1	2,875	10.3	1,800	6.1
	第2次産業*2	11,814	42.3	13,600	45.8
	第3次産業*3	13,216	47.3	14,300	48.1
従業地 *5	就業人口	24,248	100.0	27,300	100.0
	第1次産業	2,855	11.8	1,800	6.6
	第2次産業	10,218	42.1	12,700	46.5
	第3次産業	11,114	45.8	12,800	46.9

※平成12年の就業人口の合計値には、分類不能の人数（常住地15人、従業地61人）が含まれています。

資料：国勢調査

*1 第1次産業

農業、林業、水産業のこと。

*2 第2次産業

鉱業、建設業、製造業のこと。

*3 第3次産業

電気・ガス・熱供給・水道業、運輸・通信業、卸売・小売業、飲食店、金融・保険業、不動産業、サービス業、公務（他に分類されないもの）のこと。

*4 常住地就業人口

結城市に居住する就業者数のこと。

*5 従業地就業人口

結城市に職場のある就業者数のこと。

第3節—都市空間整備構想

(1) 都市空間整備基本構想の基本方針

本市の都市空間整備構想は、豊かな自然・田園環境との共生を基本に、美しい快適な環境の創造を目指すこととして、以下の基本方針をもって推進します。

“結城”らしさをもつ共生環境の創造

歴史性豊かな街や近代的な街、自然豊かな田園環境等からなる基本構造のもとに、各地域の特性をさらに「人と歴史、自然との共生」の視点からその空間的な質の向上を図ります。

豊かな市民生活を支える快適環境の創造

市民だれもがいきいきとした豊かな生活を営めるよう、生活基盤の整った住環境や都市的サービス機能、美しい景観が充実した安全で快適な環境の創造を推進します。

いきいきとした交流を支える自立環境の創造

さまざまな交流を受け止め都市・地域の活力を創造し、自立性のある一体的な都市空間構造を形成するために、広域・都市・地域の各種拠点の整備とネットワークの形成を図ります。



(2) 基本的都市機能の配置

都市の健全な成長と良好な形成に向けて、各地域特性に応じた土地利用を推進し、適切な都市機能の配置と集積に努めます。

■市街地ゾーン

商業地ゾーン	結城駅を中心とした商業地では、歴史的資源等を生かした商業の活性化、都市的利便性の向上、さらに市民活動の拠点としての活用を図り、人々が集い、にぎわう空間づくりを進めます。
住宅地ゾーン	商業地ゾーンの周辺市街地は、地区特性を踏まえた良好な住環境の形成を図ります。北部地区では、歴史的風情のある住宅地として、また南部地区では近代的・計画的な住宅地の形成を図ります。
産業ゾーン	現行の工業系用途地域を産業ゾーンとして位置付け、結城第一工業団地等の既存の工業系施設の集積地区における企業集積の維持と緑化等環境・景観の向上、工業団地の拡大に努めます。

■田園環境ゾーン

重点整備ゾーン	地域の活性化を先導する地区として以下の地区を位置付け、活性化のための拠点や施設整備にあわせて、重点的に地区の環境や景観の整備を推進します。 <重点整備地区> 財団法人日本花の会周辺地区、山川不動尊周辺地区、結城廃寺周辺地区
市街化想定ゾーン	長期的に、市街化ゾーンへの編入を計画的に図る地区として、結城西部地区、小田林駅周辺地区、南部市街地以南の地区、東結城駅周辺地区を位置付けます。

(3) 拠点とネットワークの形成

都市の魅力と活力を戦略的に創造し、特色ある一体的な都市空間構造を形成するために、地域特性を踏まえた各種都市拠点の形成と骨格的交通網等の交流ネットワーク基盤の整備を、景観等に配慮しながら推進します。

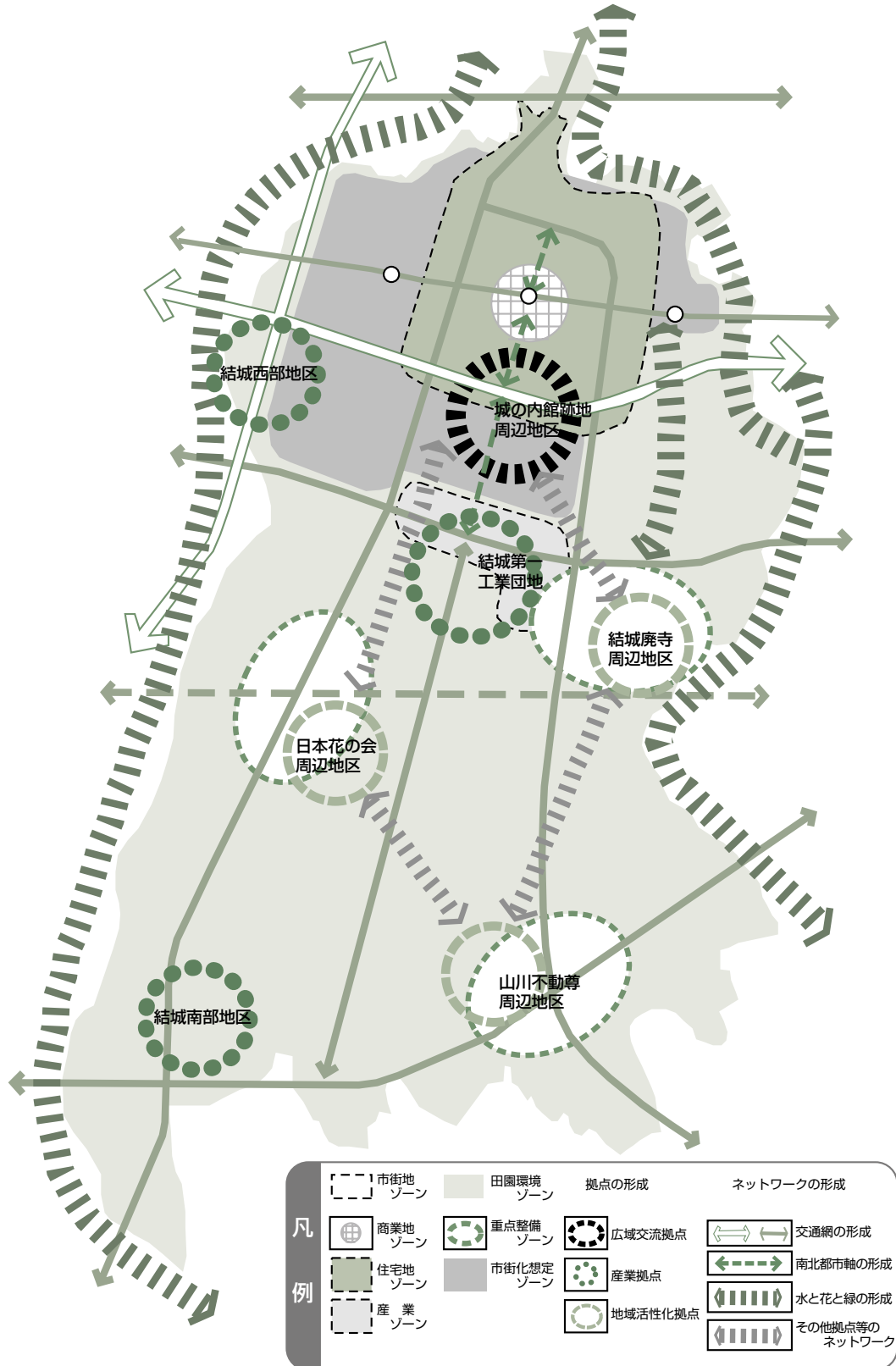
■拠点の形成

広域交流拠点	国道50号結城バイパスの広域的な交通流動を受けとめ都市の発展につなげるために、シビックセンターゾーンや広域商業サービス集積地、城の内館跡周辺整備地区、鹿窪運動公園等の拠点性の強化と、空間及び情報によるネットワーク化を図ります。
産業拠点	産業ゾーンを中心に既存工業団地周辺における工業系の拠点性の強化を図るとともに、結城西部地区における流通業務系の拠点整備を推進します。 さらに、長期的には結城南部地区において、その立地条件を生かし、首都圏の広域的な動向を踏まえながら、地域に根ざした新たな産業振興のための拠点形成を図ります。
地域活性化拠点	地域のコミュニティや活力ある地域特性を維持・発展させる地域資源活用型の活性化拠点を、財団法人日本花の会、山川不動尊、結城廃寺等を核として形成します。

■ネットワークの形成

交通網の形成	広域や都市間、都市内の地域や主要な拠点・施設を連絡する東西・南北の骨格的な交通網を整備・充実します。
水と花と緑の軸等の形成	全市公園化構想に基づいて鬼怒川・田川、西仁連川を生かし、うるおいのある水と花と緑の軸を形成するとともに、南北都市軸をはじめ幹線道路やサイクリングロード・ヘルシープロムナード、さらに情報等を活用して各種拠点のネットワーク等を形成します。

都市空間整備構想図





第3章

将来像実現のための5つの柱

本市の将来像「みどりと歴史の いきいき文化創造都市・結城」の実現に向けて、次のような5つの柱を設定します。

1 明日を拓く豊かな市民文化と人づくり（教育・文化）

市民の多彩な学習ニーズを踏まえ、自然や歴史などの地域資源を生かし、学校、地域、家庭などのさまざまな機会をとおして市民が学び、ふれあいながら、明日を担う人づくりと独自の文化の創造を推進します。

2 ともに生きる健やかな福祉社会づくり（健康・福祉）

地域でのさまざまなふれあいを通して、ともに個人の尊重と相互扶助の大切さを学び、市民だれもが身近な地域や家庭で、健やかに安心して暮らすことができる福祉社会の実現をめざします。

3 美しいゆとりある快適環境と景観づくり（環境・都市基盤）

豊かな自然や歴史との共生を基本として、さまざまな交流を拡大し、活力の創造につなげる基盤づくりと、だれもが安全で快適に過ごすことができる美しい環境・景観づくりを推進します。

4 豊かな暮らしを育む活力ある産業づくり（産業）

交通通信網の整備などに伴う交流の拡大や環境に配慮しつつ、産業の高度化、高付加価値化を図りながら、地域に根ざした新たな産業の創造や企業の立地を進め、豊かな暮らしを育む産業の振興を推進します。

5 市民の誇りとなる対話と協調の都市づくり（自治・都市づくり）

市民だれもが誇りと愛着をもてる結城市の創造をめざし、市民一人ひとりのふれあいと対話を通して、市民と行政との信頼関係を築き、みんなで実践する協働の都市づくりを推進します。

○構想の基本姿勢

「らしさ」づくり

「豊かさ」づくり

「自主・自助」の
都市づくり

○都市づくりの目標

将来像

みどりと歴史の いきいき文化創造都市・結城

将来指標 【将来人口 60,000人】

都市空間整備構想

基本方針

- “結城”らしさをもつ共生環境の創造
- 豊かな市民生活を支える快適環境の創造
- いきいきとした交流を支える自立環境の創造



基本構想の体系

○将来像実現のための5つの柱

1 明日を拓く豊かな市民文化と人づくり（教育・文化）

- ①地域に根ざした学校教育の充実（学校教育）
- ②ともに学び、ふれあう家庭・地域教育の充実（家庭・地域教育）
- ③だれもが楽しく学べる環境づくり（生涯学習）
- ④生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の推進（スポーツ・レクリエーション）
- ⑤個性豊かな結城文化の創造（芸術・文化）
- ⑥国際交流・都市間交流の推進（国際交流・都市間交流）

2 とともに生きる健やかな福祉社会づくり（健康・福祉）

- ①生涯にわたる健康づくり（健康・医療）
- ②心かよう地域福祉づくり（地域福祉）
- ③安心して子育てのできる環境づくり（児童福祉）
- ④生きがいをもって生活できる福祉環境づくり（高齢者福祉）
- ⑤自立した暮らしのできる地域づくり（障害者（児）福祉）
- ⑥安定した生活のできる体制づくり（母子・父子福祉，低所得者福祉）

3 美しいゆとりある快適環境と景観づくり（環境・都市基盤）

- ①人と自然が融合する地域づくり（環境保全）
- ②秩序ある土地利用の推進（都市計画）
- ③活発な生活・都市活動を支える交通網の整備（道路・公共交通）
- ④高度情報化による総合的なコミュニケーション網の形成（情報通信基盤）
- ⑤ゆとりある住環境の整備（住環境）
- ⑥快適な生活環境の創造（上水道・下水道）
- ⑦安全な都市づくりの推進（防災・防犯）

4 豊かな暮らしを育む活力ある産業づくり（産業）

- ①美しい田園を育む交流型農業の振興（農業）
- ②環境と調和した活力をつくる工業の振興（工業）
- ③にぎわいのある商業の振興（商業）
- ④魅力ある豊かな郷土づくり（観光・伝統産業）

5 市民の誇りとなる対話と協調の都市づくり（自治・都市づくり）

- ①市民参加型社会の創造（市民参加）
- ②市民意識がいきづく地域コミュニティの育成（コミュニティ）
- ③ボランティア社会の形成（ボランティア）
- ④男女共同参画社会の形成（男女共同参画）
- ⑤合理的な行政体制の確立（行政運営）
- ⑥効率的な財政運営（財政運営）

